



2020年8月6日

各 位

会 社 名 株式会社フュートレック  
代表者名 代表取締役社長 浦川 康孝  
(コード2468 東証第二部)  
問合せ先 常務取締役 管理部長 西田 明弘  
(TEL 06-4806-3112)

### 連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ

当社は、2020年5月11日に公表いたしました「2020年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、未定としておりました2021年3月期連結業績予想及び配当予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

#### 1. 連結業績予想について

##### (1) 2021年3月期第2四半期(累計)(2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (2020年5月11日)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回発表予想(B)	850	△200	△205	△210	△22.44
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期第2四半期)	1,258	△156	△156	△176	△18.83

##### (2) 2021年3月期通期(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2020年5月11日)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回発表予想(B)	2,200	25	20	10	1.07
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	2,735	10	6	△49	△5.26

### (3) 業績予想公表の理由

2021年3月期第2四半期連結業績予想及び通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大等の不確定要素が、事業活動に及ぼす影響を合理的に算定することが困難であることから未定としておりました。

特に映像制作・メディア事業において、撮影を伴う映像制作活動が、緊急事態宣言発令に伴ってほとんど活動できておらず、活動再開の目途を立てることができませんでしたが、緊急事態宣言解除に伴って、撮影を伴う映像制作活動についても徐々に再開され始めました。

ソフトウェア開発・ライセンス事業においては、現時点では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響は軽微であると想定しております。

上記の状況を考慮し、現時点で当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の仮定に基づき算定いたしましたので公表いたします。

業績予想の算定において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響は、第2四半期末までに段階的に回復するものと仮定しており、通期連結売上高を10%程度減少させるものと想定しております。新型コロナウイルス感染症拡大の第2波の発生等により、急速な景気の後退が再び生じることは想定しておりません。

## 2. 配当予想について

### (1) 2021年3月期配当予想

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想	—	—	—
今回予想	0.00	—	—
前期実績 (2020年3月期)	0.00	3.00	3.00

### (2) 配当予想公表の理由

当社における利益配分につきましては、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保の確保を図るとともに、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要項目と位置付けており、年1回の期末配当を、安定的かつ継続的に実施していくことを基本方針としております。

本日公表いたしました業績予想は現時点で入手可能な情報及び合理的と判断する仮定に基づき算定いたしました。一方で、現在でも世界的な新型コロナウイルス感染症の収束時期の見通しは立っておらず、今後の景気動向等が不透明な状況にあります。このような状況並びに、当社の財務状況を鑑み、当事業年度の期末配当予想につきましては、引き続き未定とさせていただき、決定次第速やかに公表いたします。

注) 上記の業績予想値は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以上